

# 令和8年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
保育実習指導 I				演習		下平正恵	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1	2	60	30	通年	幼児:選択	保育士:必修	
[授業の目的・ねらい]							
1 保育実習の意義・目的を理解する。 2 実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 3 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 4 実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。 5 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。							
[授業全体の内容と概要]							
1 保育実習の意義 (1)実習の目的 (2)実習の概要 2 実習の内容と課題の明確化 (1)実習の内容 (2)実習の課題 3 実習に際しての留意事項 (1)子どもの人権と最善の利益の考慮 (2)プライバシーの保護と守秘義務 (3)実習生としての心構え 4 実習の計画と記録 (1)実習における計画と実践 (2)実習における観察、記録及び評価 5 事後指導における実習の総括と課題の明確化 (1)実習の総括と自己評価 (2)課題の明確化							
[受講上の注意事項]							
<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な予習を行って授業にのぞみ、かならず復習を行う。</li> </ul>							
[使用テキスト]					[評価基準]		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所保育指針解説書(厚生労働省)</li> <li>・保育のマナーと言葉</li> <li>・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型 認定こども園教育・保育要領 &lt;原本&gt;</li> <li>・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説</li> <li>・保育者になる人のための実習ガイドブックA to Z</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習関連提出物(70%)</li> <li>・授業への意欲・態度(20%)</li> <li>・出席状況(10%)</li> </ul>		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目		授業内容				
1	保育園実習・施設実習とは		ボランティア実習・体験実習・保育園・施設実習について実習方法、期間、資格取得の方法など学ぶ。				
2	〃		〃				
3	保育園について学ぶ		保育園の役割、保育士の役割、保育用語について学ぶ。				
4	施設について学ぶ		児童養護施設・障害者福祉施設の役割、保育士の役割について学ぶ。				
5	保育園の1日の流れ・行事		保育園の1日の流れを知り、活動の意味や要点を探る。				
6	〃		〃				
7	児童養護施設の1日の流れ・行事		児童養護施設の1日の流れを知り、活動の意味や要点を探る。				
8	障害者福祉施設の1日の流れ・行事		障害者福祉施設の1日の流れを知り、活動の意味や要点を探る。				
9	実習マナーについて		実習生としての基本的なマナーを学ぶ。				
10	〃		〃				

11	実習園について	実習園を知る。
12	実習事前打ち合わせについて	事前打ち合わせで聞く内容、注意事項を学ぶ。
13	個人票の作成	個人票の準備。
14	実習日誌の書き方Ⅰ	実習日誌記入の意義を学ぶ。
15	実習日誌の書き方Ⅱ	実習日誌の書き方を学ぶ。
16	実習日誌の書き方Ⅲ	実習日誌を実際に書き、要点を探る。
17	保育実習の内容Ⅰ	保育に関わるねらい及び内容(生命の保持、情緒の安定)。
18	保育実習の内容Ⅱ	保育に関わるねらい及び内容(健康)。
19	保育実習の内容Ⅲ	保育に関わるねらい及び内容(人間関係)。
20	保育実習の内容Ⅳ	保育に関わるねらい及び内容(環境)。
21	保育実習の内容Ⅴ	保育に関わるねらい及び内容(言葉・表現)。
22	保育内容の捉え方Ⅰ	5領域と関連付けた保育内容の捉え方を学ぶ。
23	〃	〃
24	指導案の書き方	指導案の立案・作成。
25	〃	〃
26	保育実習Ⅰ[前半]直前準備Ⅰ	実習内容の準備。
27	保育実習Ⅰ[前半]直前準備Ⅱ	実習内容の準備。持参する書類等の準備。
28	保育実習Ⅰ[前半]後のまとめ	礼状、事後の提出物の説明。
29	保育実習Ⅰ(前半)の総括	保育実習Ⅰ[前半]についてのまとめ。
30	保育実習Ⅰ(前半)の総括	保育実習Ⅰ[前半]についてのまとめ・報告会。
実務教員としての経歴	保育園にて保育士として5年間勤務(そのうち1年間は副主任)	
実務経験と授業の関連	保育士としての経験を活かし、実習に必要な知識と技能を養う	